

令和2年度第2回 水源地域支援ネットワーク会議

水源地域支援ネットワークは、全国各地の水源地域の活性化に取り組む個人、団体、有識者、行政等が、様々な知見や情報を共有し、問題解決や新しい取組につながる関係をひろげ、深めるためのネットワークです。



「健全な水循環」ロゴマーク

日時

令和2年3月9日（火）9:30～16:20

形式

WEB会議

参加対象者

水源地域の活性化活動に携わっている方や、興味関心をお持ちの方

主催

国土交通省

事前登録制
参加費無料

プログラム

3/9（火）9:30開会

1. 講演① 9:40～10:40



後藤 健市氏
（株）スノーピーク地方創生
コンサルティング代表取締役会長

「野遊びと地方創生
“野遊びSDGs”」

「スノーピーク」が取り組む地方創生について事業事例を交えてご紹介します。

2. 講演② 10:50～11:50



宮崎 晃吉氏
（一社）日本まちやど協会代表理事

「地域の日常をネットワーク
する『まちやど』」

東京谷中で「まちやど」hanareを営む建築家、宮崎晃吉が地域での取組とともに、日本中に広がるまちやどの取組をご紹介します。

3. 活動発表 13:00～14:30

参加者活動報告
意見交換会

全国の水源地域における活性化の取組について情報交換等を行います。

4. ワークショップ 14:40～16:10

山田 夏子氏

（一社）グラフィックファシリテーション協会代表理事

「オンラインで深めるコミュニケーションの手法
～グラフィックファシリテーション～」



グラフィックファシリテーションの手法を通じて、何が人の心を動かすのか、どうやって現場の主体性に火をつけることができるかを学ぶとともに、発表頂いた参加者活動報告をベースにグラフィックファシリテーションを実際に体験して頂きます。

アドバイザープロフィール

安藤 周治氏 特定非営利活動法人ひろしまね 理事長



NPO法人ひろしまね理事長。小規模で超高齢化の集落や高齢者の暮らしの支援には、個別対応が可能な役場に代わる民間組織の「もう一つの役場」が有効であると、広島県と島根県境地域で実証中。長年、過疎地域を元気にする取組やNPOなど市民協働による地域づくりを実践的に取り組むとともに、アドバイザーとして全国の地域を巡る。主に国土庁地方振興アドバイザー、国土庁水源地域対策アドバイザー、総務省過疎問題懇談会委員、コミュニティ政策学会理事、国土交通省主催水の里の旅コンテスト審査委員長などを歴任。主な著書に「全国まちづくり集覧」（有斐閣）、「まちが輝く」（第一法規出版）など。水源地域支援ネットワークへは創設当初から参加。

上田 裕文氏 北海道大学メディア・コミュニケーション研究院 准教授



2001年東京大学農学部森林環境科学専修卒業後、03年東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻修了。ドイツ学術交流（DAAD）奨学生としてカッセル大学建築・都市計画・景観計画学部、都市・地域社会学科にてDr. rer. pol.（経済社会科学博士）を取得。09年札幌市立大学デザイン学部、16年北海道大学観光学高等研究センター准教授を経て、20年より現職。専門は風景計画。森林資源を活用した地域振興の取組として、健康保養地や樹木葬墓地についてドイツとの比較研究を行う傍ら、国内外で景観まちづくりや交流人口や関係人口を視野に入れた観光まちづくりのプロジェクトに取り組んでいる。主な著書に、『The Image of the Forest』（Sudwestdeutsche Verlag fur Hochschulschriften）、『こんな樹木葬で眠りたい』（旬報社）など。水源地域支援ネットワークへは平成24年より参加。

申込方法

【E-mailによる方法】

国土交通省HPより申込書を入手いただき、必要事項をご記入の上、hqt-suigenchiiki.shinko@gxb.mlit.go.jpまでお送りください（2/26（金）〆切）。事前に傍聴用のアドレスを送付します。

国土交通省HP：https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo_mizsei_tk3_000067.html

【FAXによる方法】

下記の申込様式に必要事項をご記入の上、**03-5253-1581**までお送りください（2/26（金）〆切）。



「国土交通省HP」
はこちらからアクセスできます。

申込様式（FAX用）

FAX:03-5253-1581

申込〆切

2/26（金）

氏名（ふりがな）	
所属・役職	
都道府県	
連絡先	(E-mail) ----- (TEL)

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課

電話：03-5253-8111（内線31323、31325）直通：03-5253-8392

講演者プロフィール

後藤 健市氏

大学留学中（米国）にセールスプロモーションを手掛け、その後ベンチャー会社にチーフディレクターとして参加。ソニー・松下等家電メーカーの草創期のパソコン・ワープロ等のシステムプランニングを担当。1986年に地元・帯広に戻り、それまでの経験を活かし、福祉から教育、飲食分野も含め幅広いフィールドでまちづくり活動に関わる。また、青年会議所、商工会議所青年部等に所属し、地域内外でまちづくり活動に積極的に参加。現場での経験と人脈を活かし、地方創生の新たなアイデアを実現するための会社や団体の設立、場所の価値を生かした企画と実践などに取り組む。現在も国内外の地域にある自然資源や景観、環境を「野遊び」で楽しむ地域活性化の事業に取り組んでいる。

宮崎 晃吉氏

建築家、株式会社HAGI STUDIO代表取締役、（一社）日本まちやど協会代表理事。1982年群馬県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。磯崎新アトリエ勤務を経て建築設計やプロデュースを行う傍ら2013年（株）HAGI STUDIOを設立。同年より、東京・谷中を中心エリアとした築古のアパートや住宅をリノベーションした飲食、宿泊事業を展開。「最小文化複合施設」HAGISOや「まちやど」hanareなどを設計及び運営。2017年（一社）まちやど協会代表理事就任。全国の地方都市での講演活動や、遊休不動産の活用へ働きかける「リノベーションスクール」の開催に協力し、既存都市の価値再発見に努めている。

山田 夏子氏

株式会社しごと総合研究所代表取締役、（一社）グラフィックファシリテーション協会代表理事。武蔵野美術大学造形学部卒業。株式会社バンタンにて、スクールディレクター、各校館長を歴任。人事部教育責任者として社員、講師教育、人事制度改革等に従事。2008年に株式会社しごと総合研究所を設立。人と人との関係性が、個人の能力発揮に大きな影響を与えていることを教育経験から実感し、グラフィックファシリテーションやシステム・コーチング®を使った組織開発やチームビルディング事業を展開している。関係性を“見える化”することを得意とし、様々な組織で本音を引き出す対話の場を紡いでいる。NHK総合テレビ「週刊ニュース深読み」に、2017年4月～2018年3月で出演。